

日本性科学会 ニュース

第32巻 第4号

平成25年(2013年)12月

発行人: 大川 玲子 印刷所: (株) 紹文社

2014年研修会・学術集会・研究会の開催予告

1. 第8回 日本性科学会近畿地区研修会

日 時: 2014年2月16日(日) 13:00 ~ 16:30

場 所: 大阪市立大学医学部学舎4階 講義室 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3

日本性科学会参加単位5点 日本産科婦人科学会

テーマ: “生殖補助医療とセクシュアリティー”

～産婦人科医・泌尿器科医 それぞれの立場から～

特別講演 岡山大学大学院保健学研究科教授 中塚 幹也 先生

教育講演 大阪大学大学院医学研究科准教授 辻村 晃 先生

症例カンファレンス やまなかクリニック院長 山中 幹基 先生

大阪市立大学医学部附属病院講師 羽室 明洋 先生

研修会担当理事: 石河 修 (大阪市立大学医学部附属病院病院長)

連絡先: 大阪市立大学大学院医学研究科 総合医学教育学内 森村美奈 TEL: 06-6645-3797

2. 第43回セックス・カウンセリング研修会

日 時: 2014年5月25日(日)

場 所: 東京慈恵会医科大学西新橋校(東京)

※昼休みに、2014年度日本性科学会総会を開催いたします。

3. 第34回日本性科学学会学術集会「生殖と性」

日 時: 2014年10月12日(日)

場 所: 岡山大学 Junko Fukutake Hall (愛称 J-Hall)

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学医学部 鹿田キャンパス内

お問合せ: TEL: 086-235-6538 (岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室)

大会長: 中塚 幹也 岡山大学大学院保健学研究科 岡山大学ジェンダークリニック

岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター

4. 第16回性科学セミナー: 日本性科学連合

日 時: 2014年10月11日(土)

場 所: 岡山大学 Junko Fukutake Hall (愛称 J-Hall)

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学医学部 鹿田キャンパス内

日本性科学学会学術集会・性科学セミナー合同懇親会

日 時: 2014年10月11日(土) (会場は未定)

5. 症例研究会

日 時: 2014年1月30日(木) 18:30 ~ 20:30 3月26日(水) 18:30 ~ 20:30

場 所: 日本性科学会カウンセリング室

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

※ご担当の先生の都合により、日程が変更になる場合があります。

Vol. 32

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

No.
4

TEL・FAX 03-3868-3853

大学女子サッカーコミュニティのセクシャリティ文化と青年期の性の揺らぎ

東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース 修士課程 菅 原 純 里

今回の研究会では、大学女子サッカー界特有のセクシャリティ文化について紹介し、この中で生じているセクシャリティの揺らぎについて取り上げた。

スポーツとセクシャリティに関する先行研究では、男性らしさを象徴するスポーツをする女子チームではホモセクシャルな関係を排除せず受容する雰囲気がある (Mennesson & Paul, 2003) ことや、女性選手はアスリートとしての自己と女性としての自己との間に矛盾を体験していることが指摘されている (Barbara & Shona, 2000)。日本ではスポーツとセクシャリティに関する研究は非常に少ない現状にあるため、日本の女子サッカー界に焦点化し、そこでセクシャリティの現れ方について検討した。

大学女子サッカーを経験した9名(20歳~24歳)に調査面接を行い、GTAを援用し分析した。その結果、大学女子サッカー界では大学によりバリエーションはあるものの、選手間で関係を持つことは稀ではなく、受容的な雰囲気があることが分かった。特徴的なのは、女性選手間で男女のように性役割が分化したカップルが大半を占めていることである。具体的には、「メンズ」と呼ばれる「男性的な外見や立ち居振る舞いをし女性を恋愛対象とする人」が男性役割を取り、「メンズ」ではない人あるいは「レディース」とされる人が女性役割を取っている。一見同性愛のように思われるが、同性愛という認識はもっていない。それは、おそらく二者間で性役割が分化しているためであり、『異性愛文化の再生産』がこの世界ではなされているためであると考えられる。ここまで内容に関して、二者間でどこまで性役割が分化しているのか、男性同性愛者間でも性役割が分化し『異性愛文化の再生産』がされているのかという意見が出され議論が行われた。また、ホモセクシャルな関係を持つ人たちの多くは元来男性を恋愛対象とする人であるが、この環境に入った後性指向が変化している。これは、女性のセクシャリティが環境の影響を受けて変動しやすいことや、環境へのある種の順応の仕方として捉えることが出来るのではないだろうか。

このように、大学女子サッカー界では『異性愛文化の再生産』という形でホモセクシャルな関係が達成されており、それまでのセクシャリティが脱構築、再形成されているという点で女性のセクシャリティの可変性や順応性の高さを示していると考えられる。

- Barbara Cox & Shona Thompson (2000) Multiple Bodies: *Sportswomen, Soccer and Sexuality International Review for the Sociology of Sport*, 35: 5
- Mennesson, C & Jean-Paul Clement (2003) HOMOSOCIABILITY AND HOMOSEXUALITY The Case of Soccer Played by Women: *International Review for the Sociology of Sport*, 38: 311

第21回WAS & ブラジル旅行報告～その1

日本性科学会セクシュアリティ研究会代表 荒木 乳根子

第21回WAS (Congress of the World Association for Sexual Health) が9月21日から24日までブラジルのポルト・アレグレでJaqueline Brendler会長の下、開催されました。参加者は全部で724名、日本からの参加者は15名でした。学会の内容についてのご報告は次回、正岡美麻先生が致します。今年3月に田園調布学園大学をリタイヤして、旅行気分の私は(研究発表は致しましたが)、WAS前後の観光中心のご報告です。

学会＆ユニツール企画の旅行に参加したのは大川先生、本橋さんはじめ7名。9月18日午後成田を飛び立ち、デトロイト経由でサンパウロへ。さらに小型飛行機に乗り換え、目的地フォズ・ド・イグアスに到着。飛行時間だけで22時間33分。日本とは12時間の時差、ちょうど裏側なのですね。やっぱり遠い！現地時間は19日昼。すぐにイグアスの滝観光に出発。世界最大の滝は前日の雨で水かさが増したこともあり迫力十分、最大の瀑布「悪魔の喉笛」も対岸から見て？…滝幅4,000m、最大落差82m、滝数275という景観に圧倒されました。そんな滝つぼに突っ込むボートツアーオーに勇敢にも参加。チリから来たという陽気なオジサンや高校生たちと一緒にになってワーキャーと大声を上げ、素敵なストレス解消になりました。翌20日はアルゼンチン側からのイグアスの滝観光。広い湿地帯と川の流れの上に渡された遊歩道が7キロも続き、歩きながら随所で滝を見て雄大に心洗われました。下が見える網状の遊歩道が怖いという早乙女先生に本橋氏が腕を貸してエスコート。学会の今年の大会長、スーパーウーマンにもこんな可愛い一面があるのですね。

21日～24日はポルト・アレグレ滞在。都市名は「陽気な港」という意味とのこと。ヨーロッパ風の建物が多い港町です。残念ながら小雨が降る日が多くたのですが、WAS参加だけではなく、日本からの皆さんと一緒になり、滞在を楽しみました。

25日は午前中にリオデジャネイロに移動。着いたのは真っ白な砂浜が延々と続くコパカバーナ・ビーチが目の前に広がるホテル。すっかりうれしくなり、午後は早速ビーチで遊びました。翌日はタクシーを使って5人で一日観光。リオは見どころ沢山。まずはリオの象徴的な存在であるコルコバードの丘に建つ巨大キリスト像にご挨拶。次いでサッカースタジアム、カーニバル会場、市立劇場や旧大聖堂のある旧市街へ。ここでは教員のデモに遭遇。昼食を挟んで湾に突き出した半島にそびえ立つ奇岩、ポン・ヂ・アスカールにロープウェイで上りました。リオの市街と海を360度見渡すことができて正に絶景。貧民窟があり、格差社会で様々な課題を抱えていることも感じましたが、リオがこんなに美しい自然をもった都市とは!!リオのイメージが変わりました。夜、リオを出発。アトランタ経由、23時間50分のフライトで無事日本に帰国。

行動を共にして楽しい旅の思い出を作ってくださった皆様、本当にありがとうございました！学会員の皆様、学会参加ツアーオーも大いに楽しめますよ。



2014・2015年 日本性科学会理事選挙に関する告示

理事選挙管理規程に従い、2014・2015年度の理事の立候補を受け付けます。

立候補希望者は事務局にお申し出下さい。必要書類を郵送します。

尚、ブロックについては、第4回総会の承認に基づき、全国1ブロックとします。

1. 定 員 10名以内
2. 立候補資格 2013年12月末日現在、入会後満3年を経過し、会員5名によって推薦された正会員
3. 立候補締切 2014年2月15日
4. 申し出先 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 日本性科学会選挙管理委員会
TEL・FAX 03-3868-3853

2013年12月20日

日本性科学会選挙管理委員会

委員 針間克己 大谷眞千子 花村温子 今井 伸

選挙日程 理事当選者発表 3月（候補者が定員を上回る場合は会員の投票による）
新理事の総会承認 5月（予定）
新理事の告示 日本性科学会ニュース2014年6月号

以 上

資格認定委員会より

日本性科学会副理事長（認定制度担当）阿部輝夫

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定規定、並びに更新規定（日本性科学会雑誌に掲載）に基づき、2013年度の新規資格認定並びに更新資格認定を行いました。厳正なる審査に結果、以下のように新規セックス・カウンセラー2名、更新セックス・セラピスト15名セックス・カウンセラー6名が認定されました。

新規認定

セックス・カウンセラー 織田 裕行 道木 恒子

更新認定

セックス・セラピスト	山崎 高明	亀谷 謙	大川 玲子	村口 喜代	石津 宏
	金子 和子	渡辺 景子	西 丈則	石田 雅巳	針間 克己
	中山 京子	石河 修	織田 裕行	池田 稔	佐々木掌子
セックス・カウンセラー	山崎 高明	石津 宏	亀谷 謙	中山 京子	中條 泰行
	杉山 正子				(取得順)

来年度も新規認定、並びに更新認定（2009年資格取得者が該当）の手続きが行なわれます。申請を希望される方は、日本性科学会雑誌2013年vol.31 no.1掲載の資格認定規定並びに資格更新規定を御熟読の上、ご準備をお願い致します。特に、学術集会・研修会などに御出席の受講証・出席証は、必ず御保管下さい。

申請の詳細は、2014年6月発行のニュースに掲載されます。



Asia-Oceania Federation of Sexology

2012年8月松江のアジア・オセアニア性科学学会から早1年半。次回のお知らせです。

開催日程：2014年10月22～25日

開催地：ブリスベン（オーストラリア）Mercure Hotel Conference Center

会長：Dr. Margaret Redelman

開催母体：Society of Australian Sexologists

Gold Coastにも近いBrisbaneではシドニーとはまた違ったオーストラリアを楽しめるでしょう。Dr. RedelmanはAsia-Oceania Federation of Sexology (AOFS) のホームページとニュースレターの立ち上げ編集もしており、新設されたWeb Page <http://www.aofs-asia.org/index.htm> にはブリスベン大会のページも載っています。抄録締め切り日はまだ提示されていませんので、今後のWebpageをご注目下さい。学会チラシ、これまでのニュースレターもここからダウンロードできます。

文責 大川 玲子 (AOFS会長 2012-2014)